

ほかほかタイムズ

第3回目の「ほかほかタイム」は、本校卒業生の高橋優果様をお招きして、お話を伺いました。高橋様は、平成20年度の卒業生で、現在大学2年生です。



私は、今、東北大学で、アインシュタインがしていたのと同じ物理学を勉強しています。今日は、皆さんの憧れの職業について途中で聞きますので、自分の将来の夢について、思い浮かべながら話を聞いてください。

わたしは、9月5日から16日までアメリカのヒューストンにあるNASAで勉強をしてきました。NASAは、正確にはアメリカ航空宇宙局と言います。入り口には、大きな飛行機の模型がありました。飛行機ということで、パイロットになりたい人はいますか？飛行機の上に乗っているのは、スペースシャトルです。スペースシャトルは、地球と宇宙を行ったり来たりするロケットですが、

2011年に使い終わって、今はNASAに飾られています。このようなロケットに乗っている人は、宇宙飛行士ですね。将来、宇宙飛行士になりたい人はいますか？次の写真は、ミッションコントロールセンターというところで、地球から宇宙飛行士に指示を出したり、ロケットがうまく飛ぶようにスイッチを操作したりするための部屋です。これは、長さが110メートルもあるサターン5というロケットの模型です。

NASAの勉強が終わった後、ミニッツメイドパークという野球場で、昔イチローがいたシアトルマリナーズとヒューストンアストロズというメジャーリーグの試合を観戦してきました。将来、野球選手になりたい人はいますか？私が行った時には、アメリカの兵隊さんも野球を見に来ていました。将来、自衛隊に入って活躍したい人はいますか？

皆さんに、将来になりたい職業について聞いてきましたが、私もNASAに行って、夢を見つけてきました。そこで、伝えたい言葉があります。それは、英語で「Nothing is impossible」、日本語に訳すと、「できないことはない！」という意味になります。皆さんは小学生で、何でもできます。でも、何でもできるようになるには、やらなくてはいけないことがあります。一つは、「これになりたい！」という強い気持ちをもって、努力を続けていくことです。そして、その職業に就くには、どんな勉強をしたらいいのか、分からないことを図書館で調べたり、大人の人に聞いたり、インターネットで調べたりしなくてはなりません。分からないことが全部分かったときに、夢がかなうのではないかと思います。私も、まだ自分の将来の夢に向けて勉強中なので、皆さんもこれから将来の夢を見つけて、その夢に向かって、あきらめしないで、努力して頑張ってください。

次回ほかほかタイム
10月11日（水）1:15～
講師：読み聞かせボランティア
山崎 久子様
体育館玄関からお入りください。
スリッパを御持参下さい。

高橋様は、アメリカから帰国直後だったにもかかわらず、たくさんの写真をスライドにして用意してくださり、低学年の児童にも分かりやすく、お話をいただきました子どもたちの感想は、裏面に載せてありますので、御覧ください。

-----キ リ ト リ-----
保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。 担当：大森

氏名（ ）児童名（ 年 組 ）

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思いますので、御了承ください。